※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目３に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

（一財）全国地域情報化推進協会　御中

報告日　2020年10月1日

派遣決定番号 [redacted]

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（３日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

１．申請団体情報

１－１．申請団体

団体名	北秋田市			代表者名	津谷　永光
担当者部署	総務部			連絡先電話番号	0186-62-6606
担当者役職	主査	担当者氏名	佐藤　礼介	連絡先E-mail	[redacted]
住所	018-3392　秋田県北秋田市花園町１９番１号				

１－２．推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

[redacted]

２．派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡村　久和
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回のオンライン支援では「北秋田市における関係人口の創出」をテーマに議論を行った。これにより、当市における関係人口の定義やツールを検討することができたほか、「当市ではどのような”関係人口”が増加するとありがたいか」を議論しながらアドバイスを頂くことができた。
アドバイザーへの要望事項	アドバイスいただいた内容を基に、当市が目指すべき「関係人口」のイメージをつくりあげたい。

３．地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
３－１．活動	2020年9月24日	13時00分	16時00分		180
支援形態	支援・助言（オンライン）				

４.報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	○掲載可

５．依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

５－１．支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	４　人

５－２．支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	①　各分野において北秋田市の「魅力」「特色」としてＰＲしている素材について改めて見つめ直すとともに、地元で暮らす人間が気付かない「北秋田市の魅力」を探求し、それらのＰＲの手法についても再検討を行う。 ②　①について、自治体だけでなく地域住民や企業等にも意識付けを行い、地域が一体となって取り組むことができる体制を整備する。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	上記の①・②を行うことにより、「北秋田市ファン」の獲得に向け、魅力発信の体制・方法を確立する。
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・当市では「関係人口」という分野に取り組む体制がまだしっかりと整備されていない状況であるが、体制の整備よりも「北秋田市はどのような関係人口が増えると嬉しいか？」という観点から、検討するよう助言を頂いた。 ・事業に取り組む際は、その事業の特性によって「バックキャスティング」「ＴＱＣ」などのビジネス手法が有効であるという助言を頂いた。
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	・「北秋田市はどのような関係人口が増えると嬉しいか？」を議論することで、「ふるさと納税者を増やしたい」「観光客数を増やしたい」「地域産品の購入者数を増やしたい」などの意見が出された。これにより、これまで漠然としていた「関係人口の増加」という概念が目指すべき形が見えてきつつある。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。　⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	北秋田市が目指すべき「関係人口の増加」の具体的イメージをつくりあげる。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（ＥＸＣＥＬやＰＤＦでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。
	なし
５－３．今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい　③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	

6．地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。